

子どもの貧困問題に対する認識は

市長 / 貧困対策は重要である



桑原 幸治 議員

子どもの貧困対策について

桑原議員 子供の貧困問題に対する認識は。

松本市長 子供の貧困対策は重要である。法律や国の大綱に基づいて、今年3月に長崎県子ども貧困対策推進方針が策定された。

8月には協議会が開催され、県と市や町が連携して、情報交換、あるいは施策の推進についてのことになった。

桑原議員 本市の子供の貧困対策は。

松本市長 教育支援、生活支援、就労支援、経済的支援など、既存の制度を活用した支援を行っている。

桑原議員 実態調査をして、子供の貧困対策計画を策定すべきでは。

松本市長 実態を十分把握するための調査を進めていきたい。

桑原議員 就学援助については、積極的な対策が必要。

教育長 入学時の（学用品費）支給時期を3月中にしたい。利用率が向上するように研究する。

桑原議員 南島原市のひとり親461世帯の内54%、249世帯が月平均8万円程度の所得である。生活保護や、就学援助の利用など勤めているのか。

福祉保健部長 申し出があれば生活保護等への支援につないでいる。

桑原議員 川棚町は第三子の学校給食費を無料にした。

松本市長 まだ今は考えていないが、思いはある。

社会保障制度について

桑原議員 来年から介護の要支援1と2は、ヘルパーやデイサービスなどの利用料が自己負担になる。従来のサービスを維持できるのか。

松本市長 今までと同様のサービスを受けられるよう協議が進められている。

桑原議員 介護、医療、年金などの相次ぐ改悪は、国民の老後の不安を増大させている。調査して、援助できるものがないか検討すべきでは。

松本市長 市民の皆さんが、安心して老後を暮らせるというのは大事なことで。どういう援助ができるか、十分関心を持っていかなくてはならない。

所得（万円）	受給対象者数
100未満	249人
100～150未	106人
150～200未	47人
200～	59人
合計	461人

戸別受信機の全世帯設置は

市長 / 今年度末までの整備を目指す



中村 久幸 議員

防災行政無線戸別受信機について

中村議員 市民皆様も待ち望んでおられる、戸別受信機の事業者決定を素直に評価し、喜びたい。

松本市長 「FMしまばら」と「エフエム長崎」の2社で検討し、決め手については、免許の取得状況、情報配信の自由度、導入経費、その後の維持経費などを総合的に勘案して決定をした。

比較検討された事業者とその内容「FMしまばら」に決定の決め手は。

中村議員 当初の予定よりかなり遅れたが、早速、今定例会の補正予算に計上されたので、来年度からの供用開始が実現できそうか。

松本市長 今年度末までに整備することを目指して努力していく。

中村議員 この「防災ラジオ」は各世帯以外にも公共施設、それと企業・工場などへの設置を考慮してもらえるか。

松本市長 基本的に公共性のある施設には設置をする方向である。ただ、企業・工場へはまだ検討の余地ありと考えている。

中村議員 一般世帯でも離れた別棟で若夫婦など家族が住んでいる場合や、

企業・工場等も含めて、希望があれば有料でも配布が可能か。



公共施設の管理について

中村議員 市の財産である公共施設は市民の財産でもある。大事に管理するためには責任を持って管理する人、専門の課を置くべきではないか。

教育次長 ご指摘のような管理が不十分な施設があることについては、大変申し訳なく思っている。各施設については各所管が責任を持って管理するのが第一義的であり、今後は、各所管課が責任を持って管理するよう徹底をさせたい。

その他の質問 豪雨災害の被害について



防災ラジオ（イメージ）